

株式会社ダイナム様と「災害時等での施設利用の協力に関する協定」を締結

3月24日、株式会社ダイナム様と「災害時等での施設利用の協力に関する協定」を締結しました。
 この協定は、市が大規模な地震、風水害その他の災害に見舞われた際に、市からの要請に基づき、店舗の駐車場を車中泊向けの一時的避難場所として利用できるよう締結したものです。
 今後は、この協定に基づき、相互の連絡体制を整備し災害に備えます。
 なお、同日、社会福祉法人湖南省社会福祉協議会も、株式会社ダイナム様と災害時の応援協定を締結されました。



▲(株)ダイナム滋賀湖南店ストアマネジャー 島田敏さん(左) 湖南省社会福祉協議会会長 市川徹二さん(右)

湖南省内の郵便局と「滋賀県湖南省と日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定」を締結

3月30日、湖南省内の郵便局と地域の活性化を図るため「滋賀県湖南省と日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定」を締結しました。
 この協定は、安心・安全な暮らしの実現、地域経済活性化、未来を担う子どもの育成、女性の活躍推進、その他地方創生に関することなどについて連携し、人的・物的資源を有効に活用し地域の活性化をめざすものです。
 今後、相互の連絡体制の整備や連携事項について情報交換を活発に行います。



▲甲西郵便局長 前田収さん(左)、甲西菩提寺郵便局長 諸岡俊二さん(中央)

JICA海外協力隊員の白根昇さんが市長を表敬訪問されました

白根さんは、35年間製薬会社の研究所で医薬・農業の研究に従事。退職後2年間、JICA海外協力隊員としてコロンビアの地域開発財団(FUNDASES)において、「微生物農薬の開発」をテーマに活動されました。研究では、農作物の植物表面から病害を抑える性質を持ち、有機農業を推進する上で有効な病害防除手段となる有用微生物を採取し、その効果を確認されました。
 白根さんは4月から2年間、再び協力隊に参加されます。「前回の活動において得た有用微生物を材料にして微生物農薬を開発するための道筋をつけたい。また、現地の食材を使って日本料理を作り、日本の食文化のすばらしさをPRしたいです。」



▲白根昇さん(左)

結成6周年「カリーニョ」を祝い 多文化共生ライブ&交流会を開催！

3月19日、音楽を通じて幅広い世代が国際交流を楽しむ「多文化共生ライブ&交流会」がみくも地域人権福祉市民交流センターにて行われました。
 国際交流グループ「カリーニョ」は、地域の身近な国際交流を目的とし2016年に結成され、ポルトガル語講座などの交流活動を行っています。今回は結成6周年を祝い、ジャズピアニスト青木弘武さんを招き音楽を通じて交流しました。コンサートでは、約80人の参加者がボサノヴァやサンバなどの音楽を楽しみました。ボサノヴァの名曲「イパネマの娘」の演奏では、サンバで演奏される打楽器を使って子どもたちがブラジルのリズムを体感し、会場が盛り上がりました。
 イベントを終えて、ブラジル生まれ、湖南省育ちの日系ブラジル人4世の代表、高橋ファビオさんは「今後もこのような交流イベントを通して湖南省から地域の身近な国際交流を発信していきたいです」と笑顔で話していました。



▲コンサートの様子